お台場旧防波堤（鳥の島２島）における鳥類のモニタリング調査
春季調査（４月）報告書

平成 30 年 6 月　一般社団法人お台場海づくり協議会

１．調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

２．調査対象地域

お台場海浜公園内堤防（通称鳥の島）2 島及び周辺水域（周辺 50m 程度）

３．調査期日等

調査期日等を表１に示す。

表 1　調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 30 年 4 月 23 日（月）	8：00～14：00	曇

４．調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡等を必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（２）～（４）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（１）　船上センサス

鳥の島の 2 島の 50 m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声等で確認した鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

（２）　ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声等で確認した鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50 m（両側 100 m）とした。

（３） 定点観察調査

2 島の各 2 点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声等で確認した鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。観察半径は 50 m 程度、調査時間は各 30 分間とした。

（４） 任意観察調査

鳥の島の 2 島を任意に踏査し、目視または鳴き声等で確認した鳥類の種名、個体数、行動等を記録した。

船上センサス

ラインセンサス

定点観察調査

任意観察調査

写真 1　各調査手法における調査風景

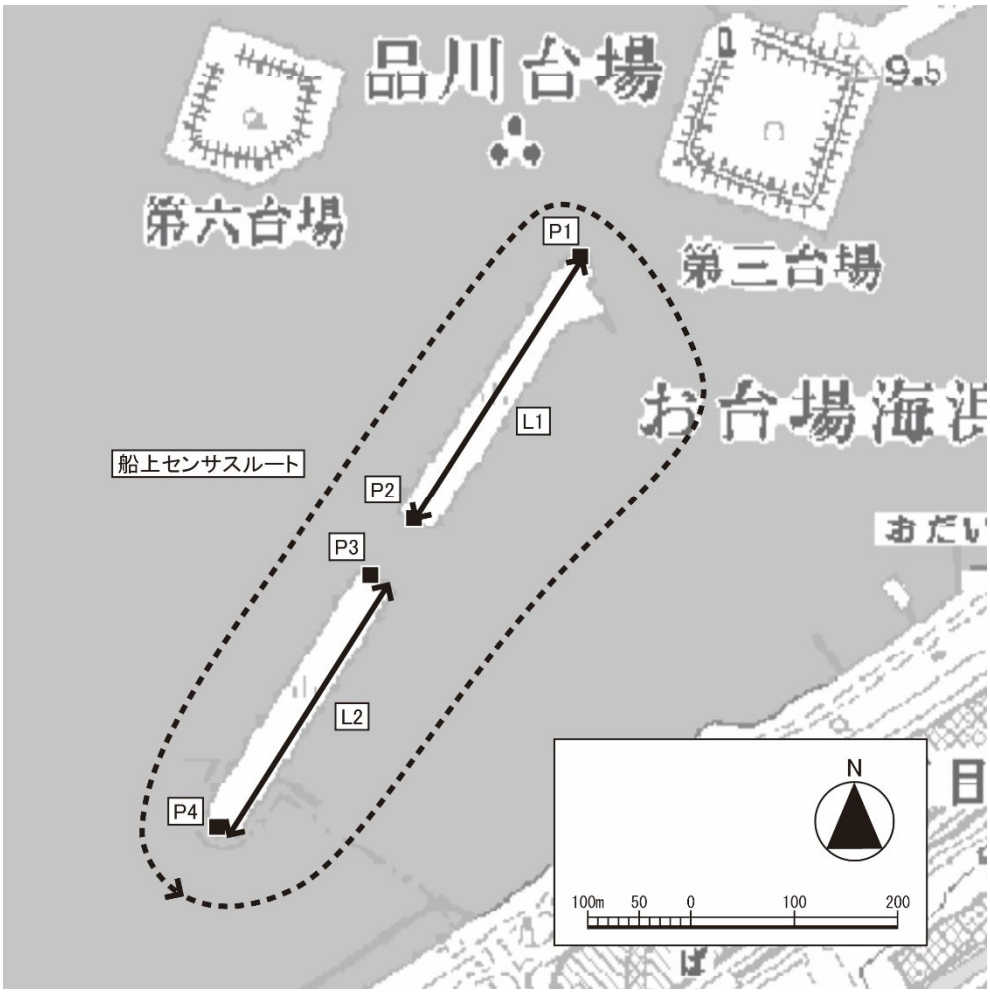

図 1　調査地点図

5．調査結果

（1） 現地調査結果

- 現地調査の結果、9 目 19 科 29 種が確認された（表 2)。
- 確認種の多くは水域やその周辺に生息する鳥類であり、カワウやアオサギ等の 15 種が確認された。島内の樹林では、オナガやシジュウカラ等の森林やその周辺に生息する鳥類が 6 種確認された。そのほか、猛禽類であるオオタカやハヤブサ、都市部に普通に生息するキジバトやハシブトガラス、スズメ等も確認された。
- 確認種は、カルガモやスズメ等の留鳥（ある地域で一年中見られる種）が多く、ツバメやコアジサシ等の夏鳥（ある地域で夏に見られる種)、スズガモやユリカモメ等の冬鳥（ある地域で冬に見られる種)、キョウジョシギやコムクドリ等の旅鳥（ある地域で春秋の渡りの途中に見られる種）も確認された。
- 確認個体数が最も多かった種はカワウであった（表 3・表 4・表 5)。船上センサスでは 2 島で合計 167 個体（表 3）が、ラインセンサスでは 2 島で合計 116 個体（表 4）

が、定点観察調査では 2 島で合計 69 個体（表 5）が確認された。両島で雛が確認されたほか、抱雛中の親鳥や雛への給餌等の繁殖行動が確認された。

- 重要種はスズガモ、ダイサギ、コサギ、オオバン、コチドリ、イソシギ、キョウジョシギ、コアジサシ、トビ、オオタカ、ハヤブサ、オオヨシキリの合計 12 種が確認された（表 2)。スズガモやオオバンは島周辺の海域で遊泳する個体を、トビやハヤブサは島周辺の海域を飛翔する個体が確認された。ダイサギとコサギ、オオタカは第六台場へ向かって飛翔する個体を、コアジサシは島周辺の海域で飛翔やハンティングする個体が確認され、コチドリ、イソシギ、キョウジョシギは島内の護岸で採食する個体を、オオヨシキリは島の北側のヨシ原でさえずりが確認された。
- 確認した重要種のうち、特に保全上の重要度が高い種としては、コアジサシ、オオタカ、ハヤブサの 3 種が挙げられる。オオタカは東京都の絶滅危惧 IA 類、コアジサシとハヤブサは絶滅危惧 IB 類に該当する貴重な種である。

（2） 前回調査との比較

- 平成 28 年の秋季（10 月）～平成 29 年の夏季（7 月）までの調査を第 2 回、平成 29 年の秋季（10 月）以降の調査を第 3 回とし、第 2 回と第 3 回の春季調査の結果を比較したところ、第 2 回では島の北側（以下、北側）で 24 種、島の南側（以下、南側）で 24 種、合計 29 種、第 3 回では北側で 27 種、南側で 21 種、合計 29 種であった（表 6)。第 2 回の確認種のうち、約 8 割（22 種）は第 3 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 第 3 回で新たに確認された種は、キョウジョシギであった。島の南側の護岸で採食や休息中の個体が確認された。本種は春秋に全国の干潟や岩礁、水田等に飛来する旅鳥であり、渡りの移動途中の個体が一時的に採食や休息を目的として立ち寄ったと考えられる。
- 外来種は第 1 回、第 2 回、第 3 回を通して確認されていない。
- ラインセンサスの結果を比較した結果、カワウに減少が見られた（表 8)。本種の優占度は第 2 回では北側で 82%、南側で 89%であったが、第 3 回では北側で 57%、南側で 71%であった。
- 第 2 回、第 3 回の春季調査で確認されたオオヨシキリは東京都の絶滅危惧Ⅱ類に該当する貴重な種である。本種はヨシ原への依存性が高い種であり、第 2 回、第 3 回ともに北側のヨシ原で確認された。島内のヨシ原は小規模であるが、渡り途中の本種にとって重要な採食や休息場所になっていると考えられる。

表 2　鳥類確認種目録

No.	目	科	種	調査時期		重要種選定基準			
				春季(4月)		①	②	③	④
				北側	南側				
1	カモ	カモ	カルガモ	○	○				
2			スズガモ	○	○				留意
3	ハト	ハト	キジバト	○	○				
4	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
5	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
6			ダイサギ		○				VU
7			コサギ	○					VU
8	ツル	クイナ	オオバン	○	○				VU
9	チドリ	チドリ	コチドリ	○	○				VU
10		シギ	イソシギ	○	○				VU
11			キョウジョシギ	○	○				VU
12		カモメ	ユリカモメ	○	○				
13			ウミネコ	○	○				
14			オオセグロカモメ	○					
15			コアジサシ	○	○		国内	VU	EN
16	タカ	タカ	トビ		○				NT
17			オオタカ	○				NT	CR
18	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	○			国内	VU	EN
19	スズメ	カラス	オナガ	○					
20			ハシブトガラス	○	○				
21		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
22		ツバメ	ツバメ	○	○				
23		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
24		ヨシキリ	オオヨシキリ	○					VU
25		ムクドリ	ムクドリ	○					
26			コムクドリ	○					
27		スズメ	スズメ	○	○				
28		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
29		アトリ	カワラヒワ	○	○				
合計	9目	19科	29種	27種	21種	0種	2種	3種	12種

注1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録　改訂第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

注2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法（昭和25年、法律第214号）

天：天然記念物　特：特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号；平成23年改訂）

国内：国内希少野生動物　国際：国際希少野生動物

③「第４次レッドリストの公表について」（平成29年、環境省）における掲載種

EX：絶滅　EW：野生絶滅　CR：絶滅危惧IA類　EN：絶滅危惧IB類　VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧種　DD：情報不足　LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」（平成25年、東京都）における区部の掲載種

EX：絶滅　EW：野生絶滅　CR：絶滅危惧IA類　EN：絶滅危惧IB類　VU：絶滅危惧II類

NT：準絶滅危惧　DD：情報不足　留意：留意種

表 3　船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計個体数
				春季(4 月)		
				北側	南側	
1	カモ	カモ	カルガモ	17	5	22
2			スズガモ	0	24	24
3	ハト	ハト	キジバト	0	1	1
4	カツオドリ	ウ	カワウ	89	78	167
5	ペリカン	サギ	アオサギ	1	6	7
6			ダイサギ	1	0	1
7	ツル	クイナ	オオバン	5	1	6
8	チドリ	シギ	イソシギ	1	1	2
9			キョウジョシギ	2	0	2
10		カモメ	ユリカモメ	3	0	3
11			コアジサシ	0	1	1
12	タカ	タカ	オオタカ	0	1	1
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	1	4
14		シジュウカラ	シジュウカラ	0	2	2
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	0	1	1
16		ムクドリ	コムクドリ	0	6	6
17		セキレイ	ハクセキレイ	1	0	1
合計	8 目	13 科	17 種	123	128	251

注 1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録　改訂第 7 版」（平成 24 年、日本鳥学会）に準拠した。

表 4　ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計個体数
				春季（4月）				
				L1（北側）		L2（南側）		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カモ	カモ	カルガモ	8	9%	11	12%	19
2			スズガモ	1	1%	0	0%	1
3	ハト	ハト	キジバト	1	1%	7	8%	8
4	カツオドリ	ウ	カワウ	51	57%	65	71%	116
5	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1%	1	1%	2
6	ツル	クイナ	オオバン	0	0%	1	1%	1
7	チドリ	シギ	キョウジョシギ	0	0%	2	2%	2
8		カモメ	ユリカモメ	5	6%	0	0%	5
9			コアジサシ	1	1%	0	0%	1
10	スズメ	カラス	オナガ	1	1%	0	0%	1
11			ハシブトガラス	2	2%	1	1%	3
12		シジュウカラ	シジュウカラ	2	2%	0	0%	2
13		ツバメ	ツバメ	2	2%	1	1%	3
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	3	3%	1	1%	4
15		ヨシキリ	オオヨシキリ	1	1%	0	0%	1
16		ムクドリ	ムクドリ	2	2%	0	0%	2
17			コムクドリ	6	7%	0	0%	6
18		セキレイ	ハクセキレイ	2	2%	1	1%	3
合計	7目	14科	18種	89	100%	91	100%	180
				16種		10種		18種

注1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録　改訂第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

表 5　定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計個体数
				春季（4月）				
				北側		南側		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	カルガモ	1	5	0	3	9
2			スズガモ	0	1	1	0	2
3	カツオドリ	ウ	カワウ	22	9	17	21	69
4	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1	1	2	5
5			コサギ	1	0	0	0	1
6	ツル	クイナ	オオバン	0	2	0	0	2
7	チドリ	チドリ	コチドリ	0	1	0	3	4
8		カモメ	ユリカモメ	8	12	7	7	34
9			ウミネコ	0	1	0	1	2
10			コアジサシ	1	2	2	2	7
11	スズメ	カラス	ハシブトガラス	3	0	2	0	5
12		シジュウカラ	シジュウカラ	0	1	0	0	1
13		ツバメ	ツバメ	0	0	0	2	2
14		ムクドリ	ムクドリ	3	0	0	0	3
15			コムクドリ	5	0	0	0	5
16		スズメ	スズメ	3	0	0	0	3
17		セキレイ	ハクセキレイ	0	1	2	3	6
合計	6目	12科	17種	48	36	32	44	160

注1. 分類、配列等は原則として「日本鳥類目録　改訂第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

表 6　前回調査結果との比較（春季）

No.	種名	第 2 回(H28-29)		第 3 回(H29-30)	
		春季(4 月)		春季(4 月)	
		北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ		○		
2	カルガモ	○	○	○	○
3	スズガモ	○	○	○	○
4	カンムリカイツブリ	○	○		
5	キジバト	○	○	○	○
6	カワウ	○	○	○	○
7	アオサギ	○	○	○	○
8	ダイサギ	○			○
9	コサギ	○	○	○	
10	オオバン		○	○	○
11	コチドリ			○	○
12	イソシギ	○	○	○	○
13	キョウジョシギ			○	○
14	ユリカモメ	○	○	○	○
15	ウミネコ	○	○	○	○
16	セグロカモメ	○	○		
17	オオセグロカモメ			○	
18	コアジサシ	○	○	○	○
19	トビ				○
20	オオタカ			○	
21	ハヤブサ	○		○	
22	オナガ			○	
23	ハシブトガラス	○	○	○	○
24	シジュウカラ			○	○
25	ツバメ	○		○	○
26	ヒヨドリ	○	○	○	○
27	メジロ		○		
28	オオヨシキリ	○		○	
29	ムクドリ	○	○	○	
30	コムクドリ		○	○	
31	ツグミ	○	○		
32	スズメ	○	○	○	○
33	ハクセキレイ	○	○	○	○
34	カワラヒワ	○		○	○
35	ホオジロ		○		
36	アオジ	○	○		
合計		24 種	24 種	27 種	21 種
		29 種		29 種	

表 7　前回調査との比較（船上センサス結果（第 2～3 回））

No.	種名	調査時期			
		春季(4 月)			
		第 2 回(H28-29)		第 3 回(H29-30)	
		北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ	0	1	0	0
2	カルガモ	9	19	17	5
3	スズガモ	7	46	0	24
4	カンムリカイツブリ	0	1	0	0
5	キジバト	1	0	0	1
6	カワウ	152	102	89	78
7	アオサギ	5	0	1	6
8	ダイサギ	0	0	1	0
9	オオバン	0	0	5	1
10	イソシギ	1	1	1	1
11	キョウジョシギ	0	0	2	0
12	ユリカモメ	3	2	3	0
13	ウミネコ	2	2	0	0
14	セグロカモメ	3	1	0	0
15	コアジサシ	0	0	0	1
16	オオタカ	0	0	0	1
17	ハシブトガラス	1	1	3	1
18	シジュウカラ	0	0	0	2
19	ツバメ	1	0	0	0
20	ヒヨドリ	1	0	0	1
21	コムクドリ	0	0	0	6
22	ツグミ	2	0	0	0
23	スズメ	2	0	0	0
24	ハクセキレイ	0	0	1	0
合計個体数		190	176	123	128
合計島別種数		14 種	10 種	10 種	13 種
合計種数		16 種		17 種	

表 8　前回調査との比較（ラインセンサス結果（第 2～3 回））

No.	目名	科名	種名	調査時期							
				春季（4 月）							
				第 2 回(H28-29)				第 3 回(H29-30)			
				L1（北側）		L2（南側）		L1（北側）		L2（南側）	
				個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カモ	カモ	カルガモ	2	1%	5	4%	8	9%	11	12%
2			スズガモ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
3	ハト	ハト	キジバト	4	3%	0	0%	1	1%	7	8%
4	カツオドリ	ウ	カワウ	111	82%	104	89%	51	57%	65	71%
5	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%
6	ツル	クイナ	オオバン	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%
7	チドリ	シギ	イソシギ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
8			キョウジョシギ	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%
9		カモメ	ユリカモメ	0	0%	0	0%	5	6%	0	0%
10			セグロカモメ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
11			コアジサシ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
12	スズメ	カラス	オナガ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
13			ハシブトガラス	2	1%	0	0%	2	2%	1	1%
14		シジュウカラ	シジュウカラ	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%
15		ツバメ	ツバメ	3	2%	0	0%	2	2%	1	1%
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1%	1	1%	3	3%	1	1%
17		メジロ	メジロ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
18		ヨシキリ	オオヨシキリ	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
19		ムクドリ	ムクドリ	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%
20			コムクドリ	0	0%	0	0%	6	7%	0	0%
21		ヒタキ	ツグミ	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%
22		スズメ	スズメ	8	6%	0	0%	0	0%	0	0%
23		セキレイ	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	2	2%	1	1%
24		アトリ	カワラヒワ	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%
25		ホオジロ	アオジ	2	1%	1	1%	0	0%	0	0%
合計	7 目	19 科	25 種	136	100%	117	100%	89	100%	91	100%
				10 種		9 種		16 種		10 種	

表 9　前回調査との比較（定点観察調査結果（第 2～3 回））

No.	種名	調査時期															
		春季（4 月）															
		第 2 回（H29）								第 3 回（H30）							
		北側				南側				北側				南側			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	オカヨシガモ	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	3	5%	1	3%	3	15%	4	20%	1	2%	5	14%	0	0%	3	7%
3	スズガモ	0	0%	9	27%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	1	3%	0	0%
4	カンムリカイツブリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	カワウ	25	40%	7	21%	8	40%	11	55%	22	46%	9	25%	17	53%	21	48%
6	アオサギ	1	2%	1	3%	0	0%	0	0%	1	2%	1	3%	1	3%	2	5%
7	ダイサギ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8	コサギ	0	0%	1	3%	0	0%	1	5%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
9	オオバン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	6%	0	0%	0	0%
10	コチドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	3	7%
11	イソシギ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12	ユリカモメ	6	10%	4	12%	0	0%	0	0%	8	17%	12	33%	7	22%	7	16%
13	ウミネコ	6	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%
14	コアジサシ	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%	1	2%	2	6%	2	6%	2	5%
15	ハヤブサ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
16	ハシブトガラス	0	0%	4	12%	0	0%	0	0%	3	6%	0	0%	2	6%	0	0%
17	シジュウカラ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
18	ツバメ	3	5%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%
19	ヒヨドリ	2	3%	0	0%	2	10%	2	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	ムクドリ	1	2%	2	6%	0	0%	0	0%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
21	コムクドリ	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%	5	10%	0	0%	0	0%	0	0%
22	ツグミ	0	0%	0	0%	2	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
23	スズメ	8	13%	0	0%	0	0%	0	0%	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%
24	ハクセキレイ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	2	6%	3	7%
25	カワラヒワ	5	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
26	アオジ	0	0%	1	3%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計		62	100%	33	100%	20	100%	20	100%	48	100%	36	100%	32	100%	44	100%
		12 種		12 種		7 種		6 種		10 種		11 種		7 種		9 種	

表 10（1）　鳥類確認種目録（第 1 回～第 3 回）

No.	種名	調査時期					
		第 1 回 （H27 夏～28 春）		第 2 回 （H28 秋～29 夏）		第 3 回 （H29 秋～）	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ				○		○
2	マガモ		○	○	○		○
3	カルガモ	○	○	○	○	○	○
4	オナガガモ				○	○	○
5	ホシハジロ						○
6	スズガモ	○	○	○	○	○	○
7	ウミアイサ		○				
8	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○
9	ミミカイツブリ			○			
10	ハジロカイツブリ	○	○	○	○		
11	キジバト	○	○	○	○	○	○
12	カワウ	○	○	○	○	○	○
13	ササゴイ		○				
14	アオサギ	○	○	○	○	○	○
15	ダイサギ	○	○	○	○		○
16	コサギ	○	○	○	○	○	
17	オオバン	○	○	○	○	○	○
18	コチドリ	○	○		○	○	○
19	イソシギ	○	○	○	○	○	○
20	キョウジョシギ					○	○
21	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○
22	ウミネコ	○	○	○	○	○	○
23	カモメ	○	○			○	
24	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○
25	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○
26	コアジサシ	○	○	○	○	○	○
27	ミサゴ	○		○			○
28	ハチクマ	○					
29	トビ	○	○	○	○	○	○
30	ハイタカ		○		○		
31	オオタカ	○		○	○	○	
32	ノスリ		○	○	○	○	
33	カワセミ			○			○
34	チョウゲンボウ		○				○
35	ハヤブサ			○	○	○	○
36	モズ			○	○	○	○
37	カケス				○		
38	オナガ			○	○	○	○
39	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○
40	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○

表 10（2）　鳥類確認種目録（第 1 回～第 3 回）

No.	種名	調査時期					
		第 1 回 （H27 夏～28 春）		第 2 回 （H28 秋～29 夏）		第 3 回 （H29 秋～）	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側
41	ヒバリ						○
42	ツバメ	○	○	○	○	○	○
43	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○
44	ウグイス	○	○	○	○	○	○
45	メジロ	○	○	○	○	○	○
46	オオヨシキリ			○		○	
47	ムクドリ	○	○	○	○	○	○
48	コムクドリ				○	○	
49	シロハラ	○	○	○	○		
50	アカハラ	○			○		
51	ツグミ	○	○	○	○	○	○
52	ジョウビタキ	○		○	○	○	○
53	イソヒヨドリ	○	○		○		○
54	キビタキ	○				○	
55	スズメ	○	○	○	○	○	○
56	キセキレイ			○			
57	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○
58	セグロセキレイ				○		
59	タヒバリ						○
60	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○
61	ホオジロ	○		○	○		
62	アオジ	○	○	○	○	○	○
63	オオジュリン			○			
64	ドバト	○	○				
合計	64 種	41 種	40 種	44 種	47 種	40 種	43 種
		42 種		53 種		54 種	

 カルガモ	 スズガモ（留意種）
 カワウ（巣上の雛）	 アオサギ
 オオバン（重要種）	 コチドリ（重要種）
 イソシギ（重要種）	 キョウジョシギ（重要種）
 ユリカモメ	 コアジサシ（重要種）

写真 2（1）　鳥の島で確認した主な鳥類

 トビ（重要種）	 ハヤブサ（重要種）
 ハシブトガラス	 シジュウカラ
 ムクドリ	 コムクドリ
 スズメ	 ハクセキレイ

写真 2（2）　鳥の島で確認した主な鳥類